

## 令和3年度 モデル的事業 実施計画書

1. モデル的事業名	まち協運営活性化事業
2. 事業名	空町まち協運営活性化事業
3. 目的	<p>人口減少や高齢化によって町内会の維持や役員の選出が難しい。またまち協役員は1年交代のため新役員は予備知識や情報が無い中、年度当初に新年度の事業計画等を計画立案しなければならない。そのため、前年度事業を踏襲する事が通例となり、新規事業の提案、既存事業の改善、組織改革等を行うことは非常に困難となっている。</p> <p>本事業では、平成30年度の設置した「企画・支援チーム」により、組織体制や事業の見直しを図り、役員の専従化についても検討する。</p>
3. 事業内容	<p><b>【平成 30 年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画・支援チームの人材募集を「高山市民時報」と地元情報誌「プレス」で行い、地域外スタッフを 2 名選出。地域内スタッフは、役員会で人選し1名選出、事務局局長を加えた 4 名による企画・支援チームを設置した。</li> </ul> <p><b>【平成 31 年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画支援チームに協議会長も加わり5名体制として、より幅広い意見を反映できる体制とした。</li> <li>・企画・支援チームが、各事業及び各会議に出席して各委員会やまち協本部に対して、新規事業の提案、既存事業についての課題の提起や改革などの具体的な提言を行う。</li> </ul> <p style="padding-left: 20px;"><b>【提言…次年度まち協で改革に着手すべきテーマ】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域事業の人材を活かした(講座・サークル・イベント)に対する支援方法</li> <li>②地域の交流の場である「サロン」の開設に向け、空き家対策も考慮に入れた候補地の選定</li> <li>③地域の人に地元をもっとしてもらうため「空町まち歩きマップ」の制作・発行</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、空町の課題に合った先進地視察研修を行い、研修内容を提言に生かす。</li> </ul> <p><b>【令和 2 年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「企画・支援チーム」が、各事業及び各会議(常任委員会など)に出席し、引き続き、各委員会やまち協本部に対して、新規事業の提案、3大行事などの既存事業についての課題の提起や改革などの具体的な提言を行う。</li> <li>・昨年度提起した3つのテーマに対して、確実に事業が進捗するよう助言する</li> </ul> <p style="padding-left: 20px;"><b>【本年度取り組むメインテーマ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員、組織のスリム化、役員の専従化などの組織改革に着手し、年度内に素案をまとめて役員会に提起する。</li> </ul> <p><b>【令和 3 年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織改革では、昨年度末に提案した第 1 次案に対して各町内会、委員会などの意見を十分に反映させ、より町内の現状に即した修正を行いながら、今年度中に最終案をまとめる。</li> <li>・令和 4 年度に開設するサロンの利用について、地域の多くの方々に、より活発に利用していただくための方策などを検討する。</li> <li>・事業の見直しについては、各事業、会議などに出席しながら、特に 3 大事業(空町フェスタ、敬老会、文化祭)について具体的な提案を行い、議論の活発化を図る</li> </ul>

4. 効果見込	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少や高齢化に即した組織や事業の在り方について様々な提言を行うことによって、地域の将来像が議論され、描きだされる第1歩となる。</li> <li>・地域人材を活かした事業等の活性化や地域課題に対応するための事業提案により、地域コミュニティの広がりや活性化が期待できる。</li> <li>・喫緊の課題として最も要望の多い、まち協や町内会のこれからの時代に対応した組織のスリム化や改革に向けた提言を発信することで、地域の関心も高まり議論も活発化する。</li> </ul>
---------	---

#### 事業スケジュール

月 日	項 目	事業内容(対象・方法等)	摘 要
4月～3月	組織改革	・役員、組織のスリム化や組織改革を実現するための第1次案に対して、各方面の意見を聞きながら年度内に成案を得たい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議、事業への出席</li> <li>・町内会長会との意見交換会実施</li> <li>・役員、各委員会での助言・提言</li> <li>・組織改革合同会議の立ち上げ</li> </ul>
8月～2月	サロンの活発な利用方法について	・地域内の幅広い層に利用してもらうための方策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の意見を収集</li> <li>・他地区の参考事例</li> </ul>
4月～12月	既存事業見直し	各種事業、会議への出席を通して助言、提案を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議、事業への出席</li> <li>・役員、各委員会での助言</li> </ul>
4月～9月	既存事業見直しの提案と実施にむけて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3 大事業の見直しと提言</li> <li>・空町まち歩きマップ改訂版の内容検討</li> <li>・子育て世代の事業創造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会との意見交換、助言</li> <li>・実現に向けた行程の策定</li> <li>・子育て世代との意見交換</li> </ul>

令和3年度 モデル的事業 収支予算書

【支出】

単位：円

項目・科目	予算額	支援金充当額		摘要
運営費	200,000	200,000		
人件費	184,800	184,800		委員報酬：スタッフ3名 6000円=1名, 5800円=1名, 5000円=1名 *11回（会議・事業出席）*3人 ※6,000円、5,800円の2名は交通費相当分を含め報酬額を決定
需用費	15,200	15,200		事務消耗品
合計	200,000	200,000		